

# 田辺市合併10周年記念式典

とき▼平成27年5月2日(土)

ところ▼紀南文化会館 大ホール

## 田辺市章

田辺市章

(平成17年10月1日制定)



この市章は、大正10年図案を懸賞募集し、田辺町章として選定したものを旧田辺市が引き継いできたもので、中央部は、田辺の「田」を表し、輝く星座のごとく田辺市の将来のますます発展することを象徴しています。

## 田辺市の木・花・鳥

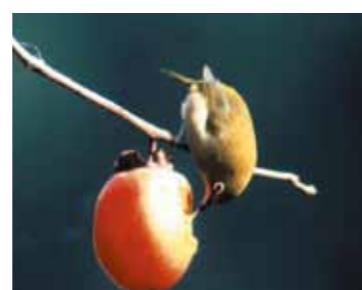
(平成17年10月1日指定)



「うばめがし」



「梅」



「めじろ」



# 記念式典次第

司会 羽川 英樹

## ご挨拶

平成17年5月1日、周辺1市2町2村が志を一つにし、共に手を携え、新しい「田辺市」としての第一歩を踏み出してから、10年という大変大きな節目を迎えることとなりました。

これまでの間、市民の皆様や関係各位の深いご理解とご協力をいただきながら、まちづくりの基盤構築に向け、「市町村建設計画」、「協働の基礎づくり」及び「行財政改革」を推進し、その上で「田辺市の価値」をより高めるとともに、防災力の強化をはじめとする、安心・安全・やさしさを基軸にしたまちづくりを進め、市民の皆様と共に、新しい田辺市の「まち」の姿を築いてまいりました。

とりわけ、近畿一広い市域を有する本市には、世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』に登録されている「熊野古道」や「熊野本宮大社」、日本三美人の湯として知られる「龍神温泉」や日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」などの温泉郷、そして梅やみかん、紀州備長炭、新鮮な魚介類等の温暖な気候や地勢に育まれた特産品など、人々の心と身体を癒やす魅力的で多種多様な地域資源に恵まれ、さらには、古の熊野詣での時代から現在に至るまで、全ての人々をおおらかに受け入れてきた風土があります。こうした多種多様な地域の特性を大切にし、それぞれの魅力を効果的かつ最大限に生かし、そして、その価値を高め、創造し、これから先の10年また20年、更にもう少し先の将来を見据えたまちづくりを念頭に置きながら、引き続き、市民の皆様が心豊かに暮らせ、誇りが持てる「まち」の確立に取り組んでまいります。

今後とも県南部の中核を担う都市として、本市が未来に向かって更に大きく飛躍できるよう、皆様方の更なるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。



田辺市長 真砂 充敏

市民の皆様方には、日頃から市政に対する温かいご理解とひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

田辺市は、今を遡ること10年前の平成17年5月1日に、田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、本宮町の5市町村が合併し、新たな市として「田辺市」が誕生いたしました。本日こうして記念すべき10周年の節目を迎えることができましたのも、合併という大きな変化を受け入れていただいた市民の皆様の深いご理解のたまものであると、心から感謝申し上げる次第であります。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や人口減少社会への対応など、広範かつ多様な課題に直面する中で、地方自治体自らが地域の魅力や価値を創造する「地方創生」という新たな重要課題に即した行政運営が求められているとともに、全国的に見ましても、今まさにまちづくりのあり方そのものが大きな転換期にあります。

こうした厳しい環境を乗り越え、魅力あるまちづくりを推し進めていくためには、未来を見据えた様々な角度からの情報分析に力を注ぐとともに、執行部と市議会が共に手を携え、互いに知恵を出し合いながら、戦略的な市政運営を進めていくことがこれまでにも増して重要になってまいります。

合併10周年という記念すべき大きな節目の年を迎え、市議会といたしましても、その役割と責任の重さを議員一人ひとりが改めて胸に刻み、英知を結集しながら様々な観点から政策提案に向けた取組を充実させるとともに、住民の福祉の増進に誠心誠意尽くしてまいりたいと存じます。

皆様方には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



田辺市議会議長 塚 寿雄

## 1 開式の辞

## 2 国歌独唱

## 3 市民憲章唱和

## 4 市長式辞

## 5 市議会議長挨拶

## 6 平成27年度 市政功労者・善行者表彰

## 7 来賓祝辞

## 8 来賓紹介

## 9 祝電披露

## 10 田辺市価値創造「戦略ビジョン」の発表

## 11 アトラクション～大阪交響楽団～ 田辺市合併10周年記念曲披露、合唱

## 12 梅ジュースで乾杯

## 13 閉式の辞

# 田辺市民憲章

(平成17年10月1日制定)

わたくしたち田辺市民は、美しい海・山・川の豊かなめぐみに感謝し、先人たちが築きあげた歴史と文化をうけつぎ、自治と福祉のこころにあふれたまちをつくるため、ここに市民憲章をさだめ、力を合わせてその実行につとめます。

1

豊かな自然を大切にし、  
調和のとれた美しいまちをつくります。

2

歴史と伝統に学び、教養を高め、  
文化のかおるまちをつくります。

3

スポーツに親しみ、心身ともに健康で、  
希望にみちた楽しいまちをつくります。

4

人権を守り、たがいに助け合い、  
明るく平和なまちをつくります。

5

時と資源を生かし、働くことを喜び、  
共に栄えるまちをつくります。

平成27年度市政功労者・善行者

## 表彰

### 《市政功労者表彰》(敬称略)

民生功労 神谷和子

産業功労 船本幸雄 田和芳雄  
山本芳雄 峯宏好  
山下繁一

教育功労 亀井清

### 《善行者表彰》(敬称略)

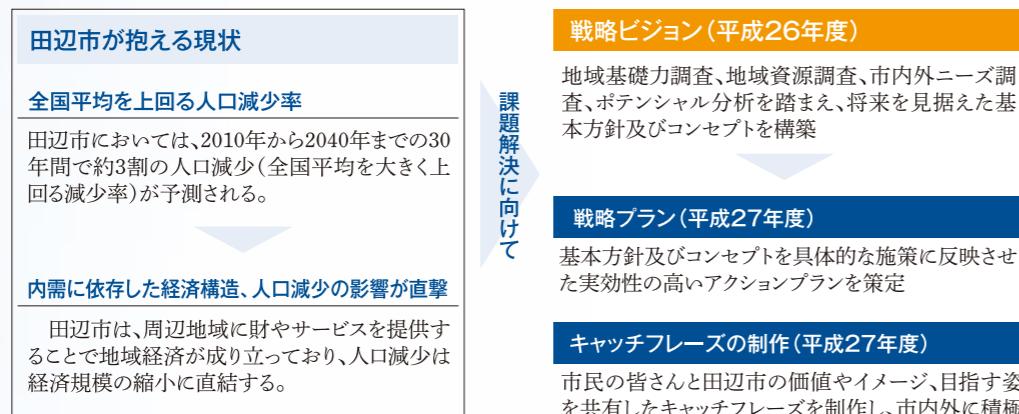
寄附 糸川禎彦  
一般財団法人新庄愛郷会  
株式会社ワイエスイー  
紀伊田辺ライオンズクラブ  
田辺はまゆうロータリークラブ  
田辺東ロータリークラブ  
田辺ライオンズクラブ  
田辺ロータリークラブ

# 田辺市価値創造戦略ビジョン

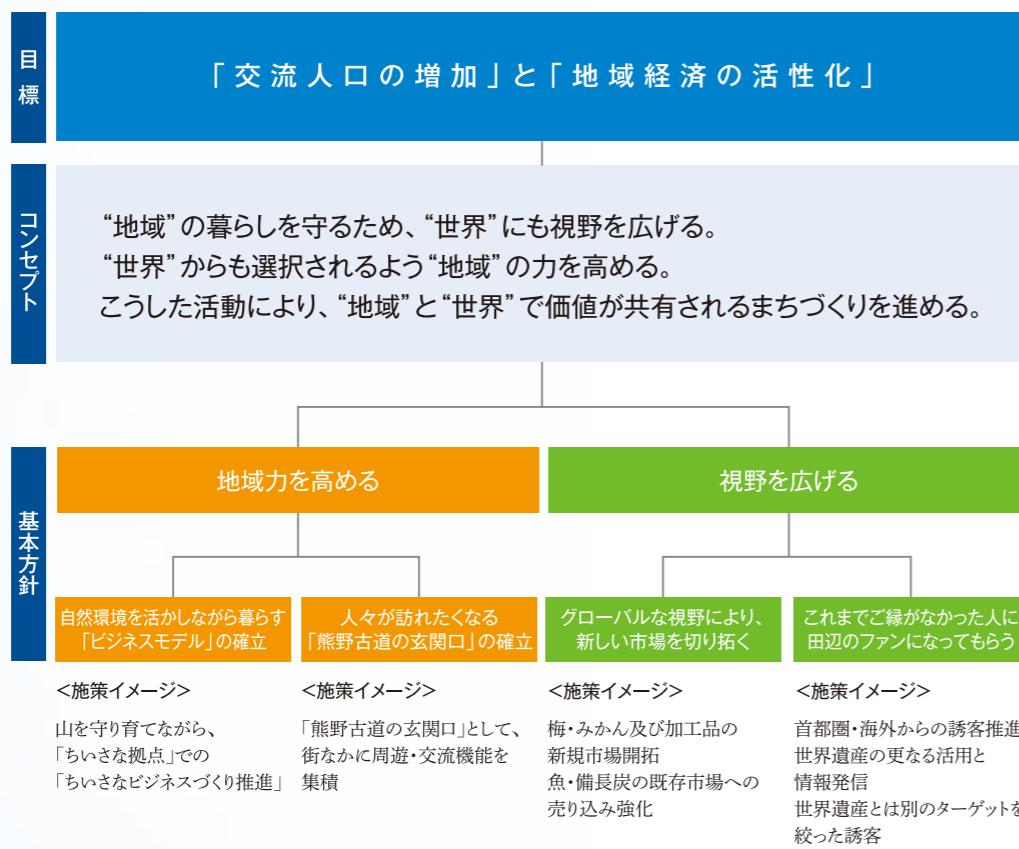
～次なる10年を見据えて～

田辺市価値創造

## 「戦略ビジョン」の構成



## 「戦略ビジョン」の基本方針及びコンセプト



## 田辺市価値創造「戦略ビジョン」策定の趣旨

我が国の中等都市は、人口減少や少子高齢化の進行による社会構造の変化、地域経済の低迷などの大きな社会的課題を抱えています。

本市においても、全国平均よりもはるかに速いスピードで人口減少が進むことが予想され、内需に依存する経済構造であることから、その影響が直撃することとなります。

こうした中、合併10周年という大きな節目を迎えるに当たり、これらの課題解決に向け、「交流人口の増加」と「地域経済の活性化」を目標に定め、次なる10年を見据えた「戦略ビジョン」を策定しました。

R.ワーグナー

歌劇「ローエングリーン」第三幕への前奏曲

八木澤教司

田辺市合併10周年記念曲

いにしえの道

～崇高なる紀伊の大自然を讃えて～

KUMANO - KODO - in praise of the Sacred Mountain Trail

八木澤教司

あすという日が

合唱

田辺第一小学校、田辺第二小学校、田辺第三小学校  
会津小学校、鮎川小学校、富里小学校、中辺路小学校  
龍神小学校、中山路小学校、上山路小学校、咲楽小学校

アトラクション

管弦樂揮

大阪岡清高  
寺交響樂團

田辺市合併10周年記念曲  
**いにしえの道** ~崇高なる紀伊の大自然を讃えて~  
 KUMANO - KODO - in praise of the Sacred Mountain Trail

作曲者 八木澤教司



武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修士課程修了。吹奏楽曲の代表作は日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国、南米でも幅広く親しまれ、各国の教育機関から招へいされ、客演指揮、講習会などを行っている。国内においては国民体育大会、全国植樹祭、全国高等学校総合体育大会の式典音楽を担当するほか、各種コンクールの審査、講演、音楽雑誌での執筆など幅広い活動を展開している。一方、合唱曲として手がけた「あすという日が」は“希望の歌”“東日本大震災復興シンボル曲”と称され、2011年第62回NHK紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱された。第21回日本管打・吹奏楽アカデミー賞「作・編曲部門」(2011年)受賞、平成23年度JBA下谷奨励賞を受賞。現在、尚美ミュージックカレッジ専門学校講師。

田辺市合併10周年記念委嘱作品「いにしえの道」世界初演に寄せて

田辺市合併10周年おめでとうございます。この記念すべき節目の年に音楽作品を提供できることを心より光栄に思っています。

田辺市からは新しく作曲する作品に対して大きく2つの要望がありました。「1. 田辺市にゆかりのあるテーマを用いた7分程度のオーケストラ作品」であること。「2. 作品を吹奏楽版に編曲して地域の中・高校生をはじめ、愛好者が永遠に演奏できる親しみやすい内容」であること。実はこの両者を同時に考慮して作曲することは難しい注文でした。しかし、田辺市の合併10周年記念曲への熱い思いに触れる中で、何とかこの両者を兼ね備えた作品を創り出さなくてはならないと、たくさんの勇気をいただいたのです。

取材で田辺市を訪れた際には、完成した作品を将来演奏することとなる地元の中・高校生に集まっていたとき、どんな作品を希望しているのか、どんなテーマを求めているのかなど、共にディスカッションを行いました。また、市内各地や熊野古道を自分の足で訪れることで、写真や映像では想像もできなかったような多くのインスピレーションを得ることができました。そして何よりも真砂市長から「熊野古道は人間と自然が共生するところ」という言葉をいただいたことが、テーマを方向づける重要な鍵となりました。

最終的にテーマは、やはり「熊野古道」。タイトルは直接的にせず、あえて「古き道」という意味で「いにしえの道」としました。副題「崇高なる紀伊の大自然を讃えて」を添えて、この作品をよりイメージしやすいものにしました。田辺市のみなさまに愛される作品を心がけたことはもちろんですが、私自身が大好きになった田辺市の魅力を県外だけでなく、海外にも音楽として紹介したいという願いを込めて作曲しました。本日は寺岡清高さんの指揮、大阪交響楽団の熱演で世界初演されますことを誇りに思います。

最後になりましたが今回の縁を結んでくださった、大阪交響楽団トロンボーン奏者の矢巻正輝さん、作曲のためにご協力くださった多くの方々に心より御礼申し上げます。そして田辺市の今後の更なるご発展を心よりお祈りし、挨拶とさせていただきます。

作曲家 八木澤教司

指揮者 寺岡清高



早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。1997年、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研さんを重ねる。2000年、ミトロプロス国際指揮者コンクール優勝。これまでにフェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管はじめ、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。

近年は、イタリア・パドヴァ管弦楽団、フランス国立ロワール交響楽団、ブラジル・ポルトアレグレ交響楽団等に客演。2007年4月には、イギリス室内管弦楽団を指揮してロンドンデビューを飾ったほか、同7月には、急病のネーメ・ヤルヴィ氏に代わり、ラトヴィア国立交響楽団を指揮して、エストニアのオイストラフ音楽祭閉幕演奏会を成功に導いた。

大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来、緊密な関係を続いている。2011年4月、同楽団常任指揮者に就任。ウィーン在住。

大阪交響楽団

1980年創立。2010年4月、楽団名を「大阪交響楽団」と改称(旧大阪シンフォニカ交響楽団)。楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。音楽監督・首席指揮者:児玉宏、常任指揮者:寺岡清高。2006年4月、大阪シンフォニカ協会理事長に大和ハウス工業株式会社代表取締役会長樋口武男氏が就任。同社の全面的な支援により、さらなる発展が期待されている。

2008年、平成19年度(第62回)文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」、平成20年度「堺市栄誉賞」受賞。同年12月、大阪シンフォニカ協会が一般財団法人となる。平成21年度「堺市功績団体」。2009年10月の「第139回定期演奏会」の成果に対し、平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞した。



国歌独唱者 原 尚志 (バリトン)



田辺市出身、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。第41回全日本学生音楽コンクール西日本大会1位、第14回日本声楽コンクール2位。田中路子賞及び東京都知事賞受賞。平成17年度文化庁新進芸術家国内研修制度国内研修員。

芸大オペラ「イドメネオ」アルバーチュでオペラデビュー後、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール・マゼット、「コシ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「椿姫」ジェルモン、「道化師」シルヴィオ等多数のオペラに出演する。

一方、コンサート歌手としてもこれまでに、ヘンデル「メサイア」・フォーレ「レクイエム」・モーツァルト「レクイエム」・シューベルト「As-dur ミサ」「Es-dur ミサ」・ベートーヴェン「第九」等の演奏で好評を博す。

東京二期会会員。日本演奏連盟会員。福岡ゾリストン主宰。福岡教育大学教育学部音楽教育講座准教授。

# 田辺市合併10年のあゆみ

平成17年5月	田辺市開庁式 秋津川・日向・稻成簡易水道を上水道に統合 家庭児童相談室設置 市長・市議会議員一般選挙	
7月	田辺扇ヶ浜海水浴場オープン 財団法人紀南環境整備公社設立	
9月	市政未来ポストの設置(平成26年度までに1,071件) 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査	
10月	新「田辺市」発足記念式典 市章、市民憲章の制定 市の木・花・鳥の指定 一日市長室の開始(平成21年3月まで実施。計24回153団体) 田辺市市民活動センター設立	
11月	明洋一丁目～三丁目区域設定(住居表示) 田上實氏、宇江敏勝氏に田辺市文化賞贈呈	
平成18年2月	田辺っ子夢会議の開始(平成20年度まで市内中学校で実施)	
3月	市内巡りバスの実施(平成25年度まで実施。計332名の参加) 上秋津小学校新築移転 国道168号「熊野川・本宮道路」供用開始	
4月	田辺市熊野ツーリズムビューロー設立 中辺路大塔消防署龍神出張所開設 広域廃棄物最終処分場 候補地5か所選定・公表	
	本宮小学校・四村川小学校・請川小学校が統合し、本宮小学校開校	
	福井小学校・甲斐ノ川小学校が統合し、咲楽小学校開校	
5月	南方熊楠顕彰館開館 第16回南方熊楠賞「人文の部」岩田慶治氏に授与	
	栗栖川(峰地区)簡易水道給水開始	
7月	湯ノ又・上広井原簡易水道給水開始 全国消防長会技術委員会開催	
9月	市勢要覧の発行 皇孫親王殿下ご誕生奉祝記念行事	
11月	坂本勲生氏、清水正治氏に田辺市文化賞贈呈	
12月	和歌山県知事選挙	
平成19年1月	全消防団合同で初めての田辺市消防出初式	
3月	下湯川簡易水道給水開始 大坊団栗簡易水道給水開始 第1次田辺市総合計画策定(H19.4～H29.3)	
	林道小松原大川線開通	
4月	元気かい!集落応援プログラムによる過疎集落支援開始 林道小又川丹生ノ川線開通 林道小広静川線開通 稻成学童保育所開所 和歌山県議会議員一般選挙	
	龍神中学校・虎東中学校・下山路中学校が統合し、龍神中学校開校	



平成19年4月	第17回南方熊楠賞「自然科学の部」伊藤嘉昭氏に授与	
5月	まちづくり対話の集いの開始 (平成20年6月まで実施。計216自治会3,253名の参加)	
	林道峰小皆線開通	
7月	真砂簡易水道給水開始 参議院議員通常選挙	
8月	城山台学校給食センター完成 学校給食完全実施	
9月	容器包装プラスチックリサイクル施設供用開始	
11月	近畿自動車道紀勢線みなべICから南紀田辺ICの区間(延長約5.8km)供用開始 田辺西バイパスの一部区間(田辺バイパスから南紀田辺ICへのアクセス区間)供用開始 芳養松原一丁目・二丁目区域設定(住居表示)	
	小川虔道氏に田辺市文化賞贈呈	
12月	体育施設予約システム稼働	

平成20年2月	北海道遠軽町、茨城県笠間市及び京都府綾部市と友好都市提携を締結	
3月	第1回市民活動まつり開催 橋谷避難広場完成	
4月	林道武住谷線開通 上秋津学童保育所開所	
5月	ケーブルテレビサービス開始(龍神地域、中辺路地域、大塔地域)	
7月	第18回南方熊楠賞「人文の部」伊藤幹治氏に授与 近野簡易水道給水開始	
8月	川合簡易水道給水開始	
10月	第19回紀伊半島知事会議を龍神行政局で開催 第10回国際合気道大会開催	
11月	龍神地域住民バス運行開始 田辺市体育連盟創立60周年記念式典開催 森本正男氏に田辺市文化賞贈呈	



平成21年3月	三里簡易水道給水開始 消防団田辺支団第3分団の新車庫完成 和歌山県内最高峰「龍神岳」命名記念式典挙行	
4月	新たに2か所の県立自然公園指定 (城ヶ森鉢尖県立自然公園・果無山脈県立自然公園) 聖地熊野を核とした憩いと蘇りの観光圏協議会設立	
	中部学童保育所開所 消防団女性分団設置	
	市長・市議会議員一般選挙	
	殿原小学校・東小学校・宮代小学校が統合し、上山路小学校開校	
5月	龍神中央(殿原地区)簡易水道給水開始 第19回南方熊楠賞「自然科学の部」堀田満氏に授与	
7月	世界遺産熊野本宮館開館 豪雨災害(左右会津川沿いに水害が発生)	
8月	東陽中学校新校舎・東部公民館完成 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査	



- 平成21年8月 南方熊楠顕彰会が第31回サントリー地域文化賞を受賞
- 9月 鮎川学童保育所開所
- 10月 市長ふれあい訪問の開始  
(平成26年度までに訪問92箇所、懇談84地区・66会場、1,272名の参加)
- 田辺子ふれあい教室の開始(平成24年度までに29小学校)
- 大塔地域住民バス運行開始
- 田辺第一小学校新校舎、体育館・中部公民館完成
- 11月 第11回田辺ジャパンカップ国際親善ソフトボール大会開催
- 眞砂典明氏に田辺市文化賞贈呈
- 災害時相互応援に関する協定を締結  
(徳川御三家附家老関係 愛知県犬山市、岐阜県海津市、茨城県高萩市、和歌山県新宮市)



都市計画道路元町新庄線海蔵寺区間

- 平成22年3月 世界遺産熊野古道館リニューアル
- 小皆地区飲料水供給施設開始
- 屈折はしご付消防ポンプ自動車の配備(旧はしご車の更新)
- 都市計画道路元町新庄線海蔵寺区間開通
- 4月 長野、古屋谷、大坊団栗簡易水道を上水道に統合  
べんけい号による巡回図書館・行政局管内的一般ステーション開設
- 市立・私立保育園・幼稚園への巡回図書館開設
- 一般廃棄物収集運搬業務(定期収集業務)の完全民間委託
- 5月 第20回南方熊楠賞「人文の部」山折哲雄氏に授与
- 7月 参議院議員通常選挙
- 8月 国道425号「福井バイパス」供用開始
- 11月 和歌山県知事選挙  
高雄一丁目～三丁目区域設定(住居表示)  
潮隆雄氏に田辺市文化賞贈呈



第62回全国植樹祭(新庄総合公園)

- 平成23年3月 東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、和歌山県沿岸部へ初の大津波警報発表  
東日本大震災へ緊急消防援助隊を派遣
- 大塔村史編纂事業終了  
(自然編・史料編I・史料編II・通史民俗編)
- 4月 田辺市意見公募手続制度の開始  
田辺市審議会等の委員公募制度の開始  
和歌山県議会議員一般選挙
- 5月 市勢要覧(一部改訂版)の発行  
世界遺産熊野本宮館がフランス・ミュラン・グリーンガイド★認定  
広域廃棄物最終処分場 最終候補地として田辺市稻成町を選定・公表  
第62回全国植樹祭(新庄総合公園)  
第21回南方熊楠賞「自然科学の部」河野昭一氏に授与
- 7月 市道明洋団地古町線(上の山一丁目～稻成町間)供用開始
- 9月 台風第12号による紀伊半島大水害の発生で甚大な被害
- 11月 坂本フジエ氏に田辺市文化賞贈呈  
湯ノ又保育園、東保育園、柳瀬保育園給食開始

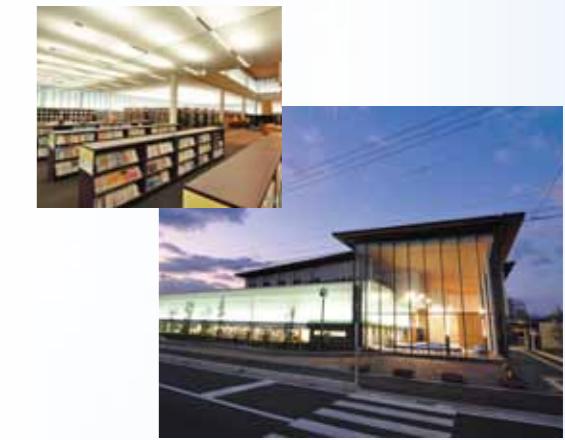


平成23年台風第12号による熊野地区山腹崩壊現場

- 平成23年12月 市民レポーター制度(広報田辺まちかど特派員)の設置

- 平成24年1月 ごみ分別指定袋をレジ袋タイプに仕様変更
- 2月 第2次温室効果ガス排出抑制等田辺市実行計画を策定  
田辺市文化交流センター「たなべる」(図書館新館)開館  
全国植樹祭 田辺市植樹イベント(本宮町大日山)  
災害時相互応援に関する協定を締結(奈良県橿原市、大阪府羽曳野市)  
災害時相互応援に関する協定を締結(植芝盛平翁ゆかりの友好都市関係  
北海道遠軽町、茨城県笠間市、京都府綾部市)

- 3月 文里多目的グラウンド・文里芝グラウンド竣工  
第1次田辺市総合計画後期基本計画策定(H24.4～H29.3)  
中芳養小学校新体育館完成  
新庄小学校新体育館完成  
緊急通信指令システムの設置(旧システムの更新)  
「ごまさんスカイタワー」道の駅登録



田辺市文化交流センター「たなべる」

- 4月 林道竹の又坂又線開通  
本宮中学校・三里中学校が統合し、本宮中学校開校
- 5月 学童保育所への配本事業開始  
第22回南方熊楠賞「人文の部」森浩一氏に授与
- 7月 平成23年台風第12号による災害の記録の発行
- 8月 広域廃棄物最終処分場 現地詳細調査の地元同意
- 11月 神谷慧氏に田辺市文化賞贈呈  
高円宮妃殿下お成り(南方熊楠顕彰館)
- 12月 田辺市文化交流センター内に田辺市立田辺歴史民俗資料館開館  
衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査

- 平成25年1月 世界遺産熊野本宮館に電気自動車用急速充電器を設置  
第12回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会で田辺市チーム初優勝
- 2月 紀州石神田辺梅林開園50周年
- 3月 国道168号「本宮道路」全線供用開始
- 4月 市長・市議会議員一般選挙  
栗栖川小学校・二川小学校が統合し、中辺路小学校開校
- 5月 第23回南方熊楠賞「自然科学の部」杉山純多氏に授与、特別賞中瀬喜陽氏に授与
- 7月 参議院議員通常選挙
- 8月 紀南環境広域施設組合設立
- 9月 田辺市觀光センターオープン  
JR紀伊田辺駅前広場整備完了  
財団法人紀南環境整備公社解散  
災害時における放送要請等に関する協定を締結
- 10月 田辺市立近的弓道場竣工記念式典開催  
田辺子ふれあい交流の開始(平成26年度までに7中学校及び適応指導教室)  
市長ふれあい公民館の開始(平成26年度までに39団体548名の参加)  
田辺西牟婁地区消防通信指令事務協議会設置  
第60回記念田辺市美術展覧会開催



田辺市観光センター



JR紀伊田辺駅前広場

# 田辺市の概要

- 平成25年10月 災害時相互応援に関する協定を締結  
(和歌山県新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町)
- 11月 東陽区域設定(住居表示)  
玉井済夫氏、故牛尾 武氏に田辺市文化賞贈呈
- 12月 公用車に電気自動車1台導入

- 平成26年1月 なんぶ学童保育所が田辺第二小学校内に移転 定員50名に増員
- 2月 第13回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会で田辺市チーム2連覇
- 3月 田辺西バイパスの一部区間  
(南紀田辺ICから芳養町清地路までの区間)供用開始

- 消防団田辺支団第2分団の新車庫完成  
田辺市立弓道場竣工  
目良公園多目的グラウンド竣工  
第2次田辺市男女共同参画プラン策定
- 4月 市役所内に「たなべ営業室」を設置  
東京・渋谷ヒカリエでプロモーションを実施、田辺市価値創造プロジェクトを始動  
林道政城線開通  
大型スキャナ導入による図書館貴重資料の電子化開始

- 5月 大阪府堺市と友好都市提携を締結  
第24回南方熊楠賞「人文の部」石毛直道氏に授与  
サンティアゴ・デ・コンポステーラ市と観光交流協定を締結

- 6月 世界遺産熊野本宮館 来館者50万人達成  
紀南文化会館開館30周年  
7月 世界遺産登録10周年記念式典開催  
世界遺産熊野本宮館名誉館長に荒俣 宏氏が就任  
サンティアゴ・デ・コンポステーラ市と観光交流協定書に関する覚書締結  
TBS番組企画「いっぷく!姉妹都市」調印式  
市勢要覧(全面刷新)の発行

- 10月 第8回全国水源の里シンポジウム開催  
新消防本部庁舎起工  
世界遺産登録10周年記念イベント『大斎原「能」と「筝」癒やしの夕べ』開催  
11月 田辺スポーツパークオープニングセレモニー開催  
和歌山県知事選挙  
田辺スポーツパーク 体育館・宿泊棟及び陸上競技場供用開始  
広域廃棄物最終処分場 稲成町内会と基本同意締結  
小板橋淳氏に田辺市文化賞贈呈  
12月 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査

- 平成27年1月 ジムナスティック・フェスティバル2015 in 田辺開催  
2月 川湯簡易水道給水開始  
田辺市観光センター来館者10万人達成  
3月 田辺第二小学校新校舎完成  
南方熊楠邸が旧南方家住宅として有形文化財に登録  
平成26年度「ふるさと田辺応援寄附金」が7,000件を突破  
4月 鮎川小学校・三川小学校が統合し、鮎川小学校開校



## 田辺市のデータ

- 面積 ..... 1,026.91km<sup>2</sup>
- 人口 ..... 78,168人(男36,875人・女41,293人)※
- 世帯数 ..... 35,697世帯※
- 市制施行日 ..... 平成17年5月1日
- 一般会計予算額 ..... 455億円(平成27年度当初予算額)
- 市の花・木・鳥 ..... 木:うばめがし、花:梅、鳥:めじろ

※平成27年3月末現在

## 田辺市の沿革

田辺市は、平成17年5月、旧田辺市、旧龍神村、旧中辺路町、旧大塔村、旧本宮町の合併により誕生しました。紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、総面積は1,026.91km<sup>2</sup>と和歌山県全体の約22パーセントを占め、近畿地方で最も広大な市域を有しており、西寄りの海岸部に都市的地域を形成するほかは、森林が大半を占める中山間地域が広がっています。

当地は古くから紀南地方の交通の要衝として栄えてきましたが、この広大な市域の中には、美しい海、山、川の大自らをはじめ、「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコ世界文化遺産に登録されている「熊野古道」や「熊野本宮大社」に代表される古い歴史や文化、日本三美人の湯で知られる「龍神温泉」や日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」の温泉郷など、人々の心と身体を癒やす豊かな自然環境や、多彩で魅力的な地域資源を数多く有しています。

また、温暖湿潤な気候を生かした梅やみかんを中心とする果樹栽培が盛んであり、中でも梅は全国でも有数の生産規模を誇り、梅の生産及び加工等を含めた梅産業は、地域経済を支える大きな柱の一つとなっています。さらに、市内の漁港は黒潮紀南分流が流れる太平洋に面し、アジ、シラス、イサキ、カツオなどの多様な魚種が水揚げされるとともに、海藻類では沿岸の磯で春先に収穫されるヒロメが特産品として知られています。

田辺市では、こうした歴史や文化、豊かな自然や地域の特性を大切にし、それぞれの魅力を最大限に生かしながら調和と均衡の取れたまちづくりを進めるとともに、一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくりに取り組んでいます。



天神崎(田辺)



龍神温泉(龍神)



高原(中辺路)



日置川(大塔)



熊野本宮大社(本宮)